

疾患の受容過程における 心理的アプローチについて

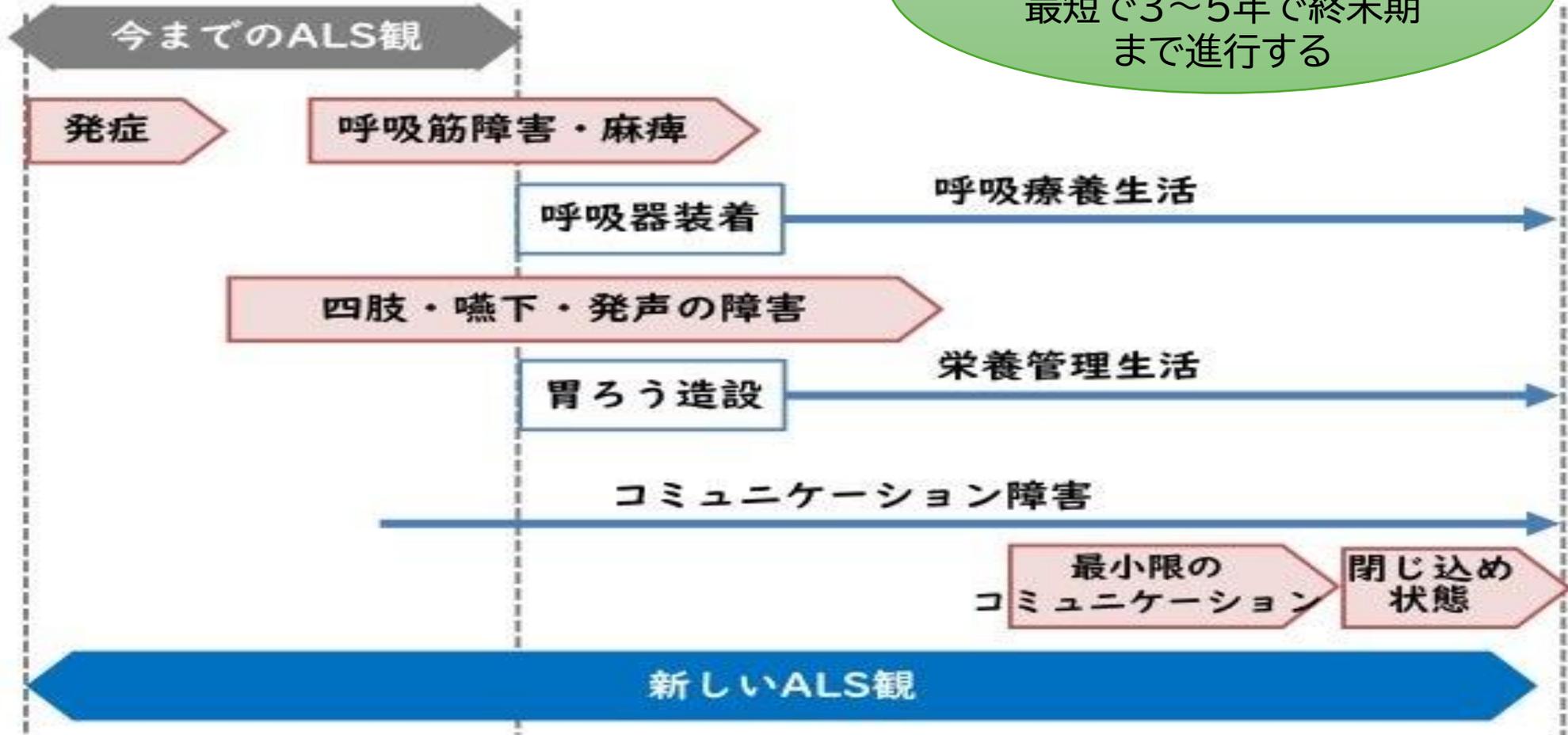
～支えあう看護を目指して～

独立行政法人 国立病院機構 南京都病院

難病看護師 藤井 利江

ALS患者の症状の進行

症状の進行は
個人差がある
最短で3~5年で終末期
まで進行する

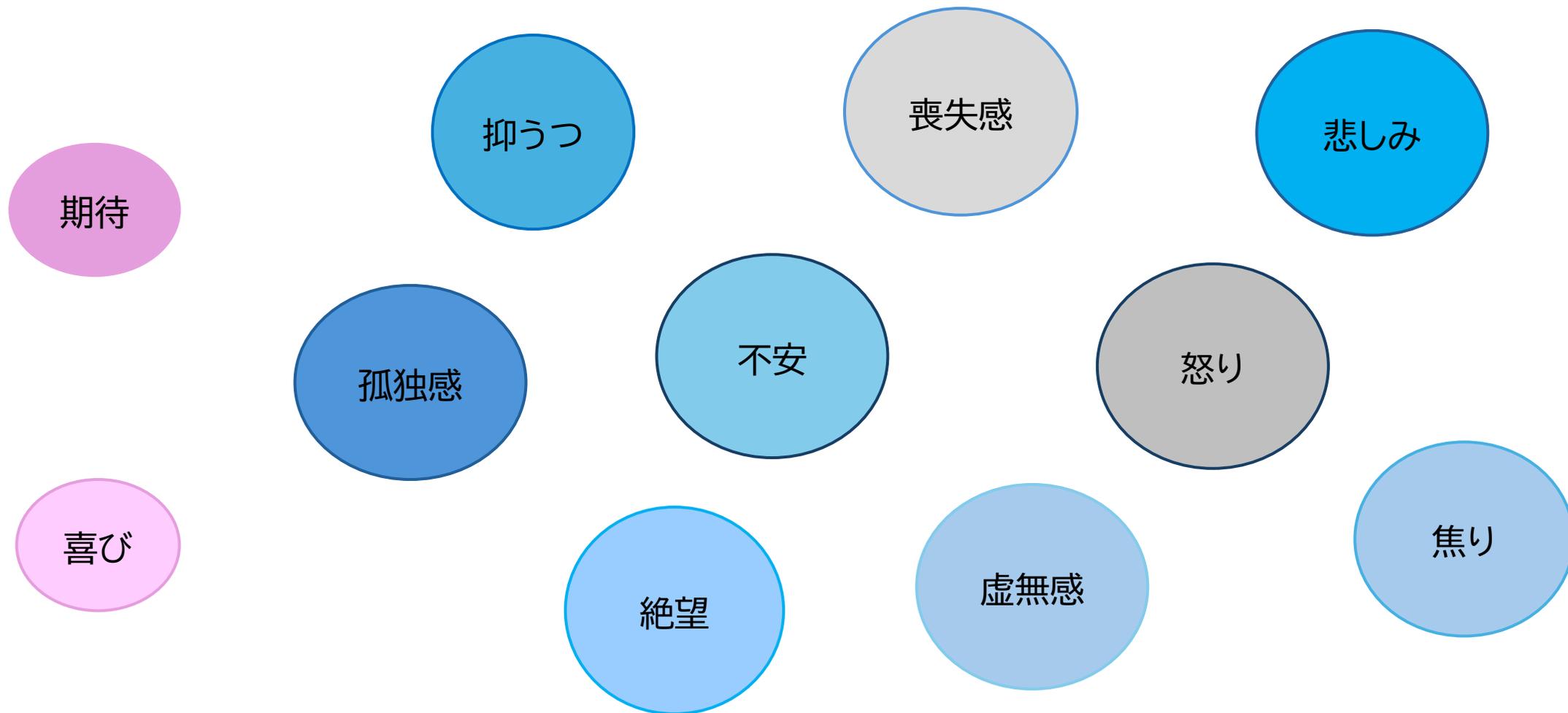


http://alsjapan.org/how_to_cure-thesis の図をもとに加筆修正。

ALS患者の気持ちの変化

告知を受けたとき	歩けなくなったとき	口から食べられなくなったとき	喋れなくなったとき	息がしにくくなってきたとき	自分で痰が出せなくなったとき	呼吸ができなくなったとき	寝たきりになったとき
<ul style="list-style-type: none">・かなりショック・動揺した・治らないという絶望感・予想ができずパニック・実感がなかった	<ul style="list-style-type: none">・ガックリきた・進行が早く不安・目の前が真っ暗・歩きたい・もう終わりのやな	<ul style="list-style-type: none">・生きている意味があるのか？・死んでもいいから食べたい	<ul style="list-style-type: none">・言葉で伝わらないのがもどかしい・気持ちがなかなか伝わらないのが辛い	<ul style="list-style-type: none">・このまま死ぬのかな？・夜が不安	<ul style="list-style-type: none">・苦しい・吸引が辛い・このまま死ぬのかな？・夜が不安	<ul style="list-style-type: none">・呼吸器がついたのが一番辛い・このまま死ぬのかな？	<ul style="list-style-type: none">・わらにもすぎる思い・夜が不安・このまま死ぬのかな？

ALS患者の心理



負の感情がほとんど
その中に少しだけ**正の感情**が混ざる

ALS患者を理解するために

発症の経過を知り
それをもとに今の気持ちを推察する



ケアをしながら常に意識していまの感情を推察



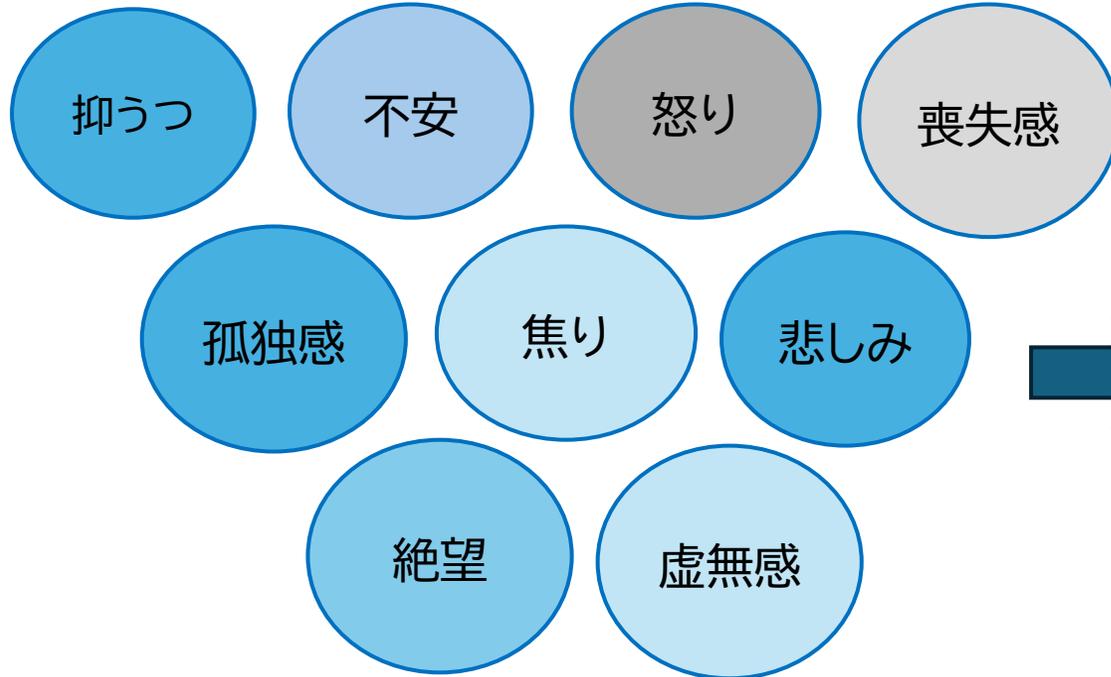
1人でなくスタッフみんなで患者の気持ちをアセスメント



今、どの心理でいるのかを共有していく

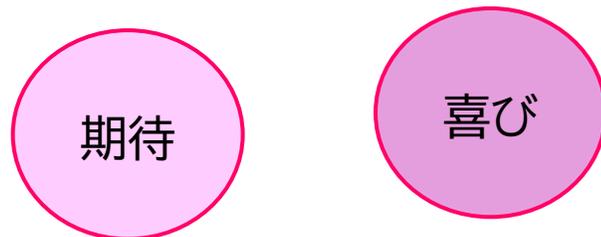
心理的アプローチ

負



- ・患者の訴えを否定をしない
- ・気持ちを聴き気持ちを受けとめる
- ・患者のニードを満たしながら、気持ちを汲み取っていく
- ・気持ちを整理するために、患者の言葉を復唱する

正



- ・正の感情が少しでも増えるように患者が喜びや楽しみを感じられることを考えて、ニードを満たしていく

ALS患者の支援者の悩み(陰性感情)

- 不眠
- 抑うつ状態
- 虚無感
- 自律神経障害
- やりがいやモチベーションの低下 など



気持ちを一人で抱え込まない
スタッフみんなで気持ちを共有する



ALS患者の想いを受け止める

- ・想いを引き出すために意図的にかかわる
- ・支援者と家族で患者の想いを受け止め、気持ちを聴きとる
- ・今ある症状に対するケアを行いながら傍に寄り添う
- ・支援者は想いを汲み取りながら、気持ちを整理してもらえるようケアにあたる



お疲れさまでした
ご清聴ありがとうございます
ございました